

4. 適切な精度管理の実施

(3) がん検診指導者に求められる役割

国立がん研究センター
がん対策研究所 がん医療支援部
検診実施管理支援室

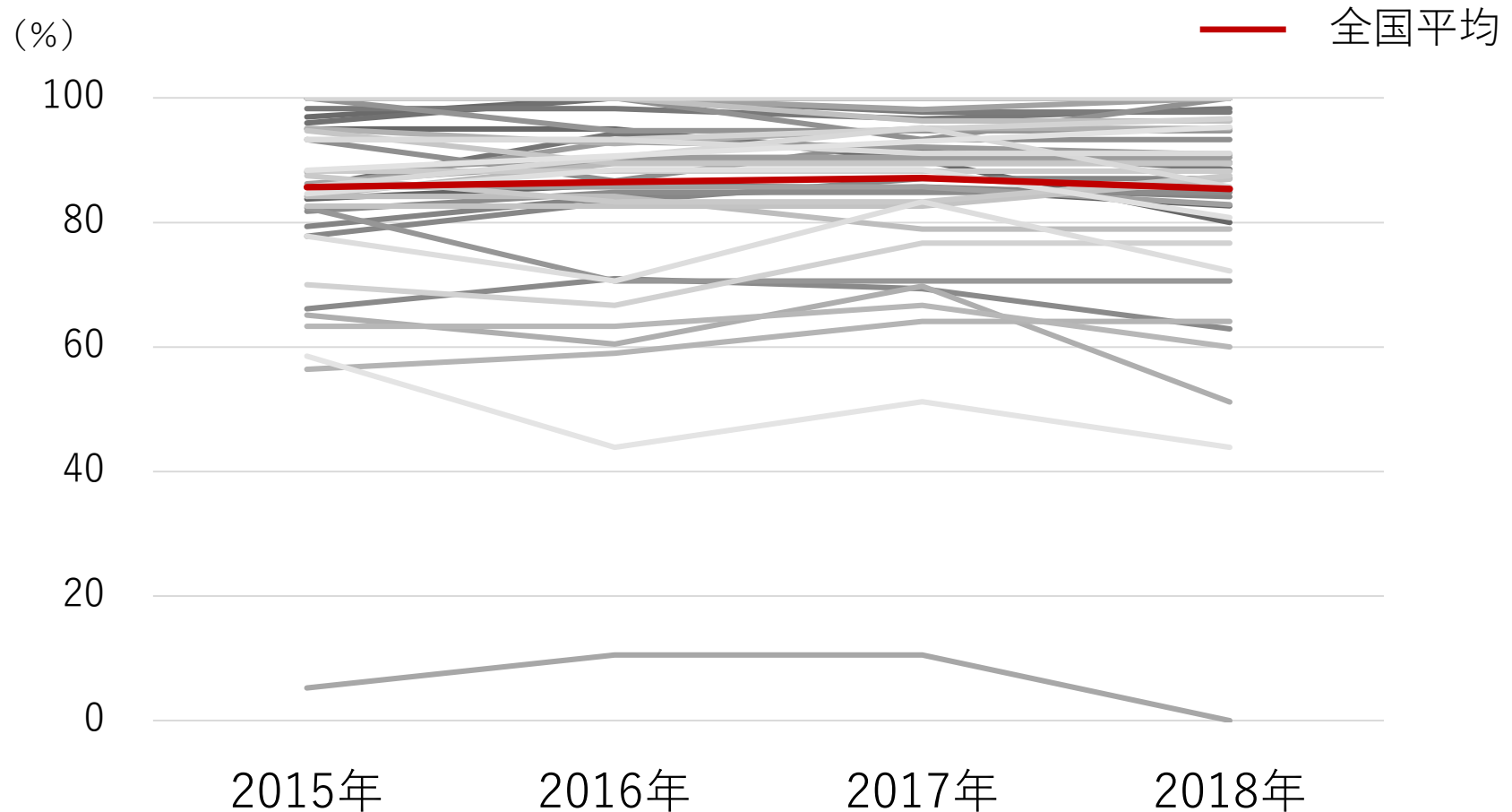
高橋 宏和

指針で定めるがん検診の内容

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

指針外検診の実施状況

(都道府県別)



- 指針外検診の実施率は変わらず高い
- 部会などで指針遵守の指導を

検診Epidemicに対する懸念

-WHO Europe-

1. **Poor awareness and understanding of the harms of screening**
検診の利益・不利益に対する理解不足
2. **Countries scale up screening programs in absence of adequate evidence**
十分な科学的根拠がない検診の拡大
3. **Countries do not follow evidence-based recommendations**
根拠に基づいた検診の推奨の不実施
4. **Lack of Quality Assurance in ongoing programs**
精度管理のされていないプログラムの実行

- 根拠に基づかない検診の拡大は危険である
- 利益・不利益を理解し、精度管理のされたプログラムを実行すべき

根拠に基づく検診の利益と不利益

-WHO Europeレポート-

Harms and benefits of evidence-based screening outlined in new WHO report

- 検診は利益だけでなく不利益ももたらす可能性がある
- 検査を実行できることと検診を実行する必要があることは区別する
- 組織型検診は、対象集団の特定から治療、モニタリング、評価まで、特定の要素を含む組織化された検診プログラム内で実施する
- Wilson-Jungnerの原則は、プログラムの実施、継続、中止を決定する際のゴールドスタンダード
- 商業的利益および検診実施者による誘導から保護するため、プログラムの企画決定には注意が必要
- プログラムの実行における障壁を特定することは、効果を最大化し、それらを克服するための対策を実施するために重要

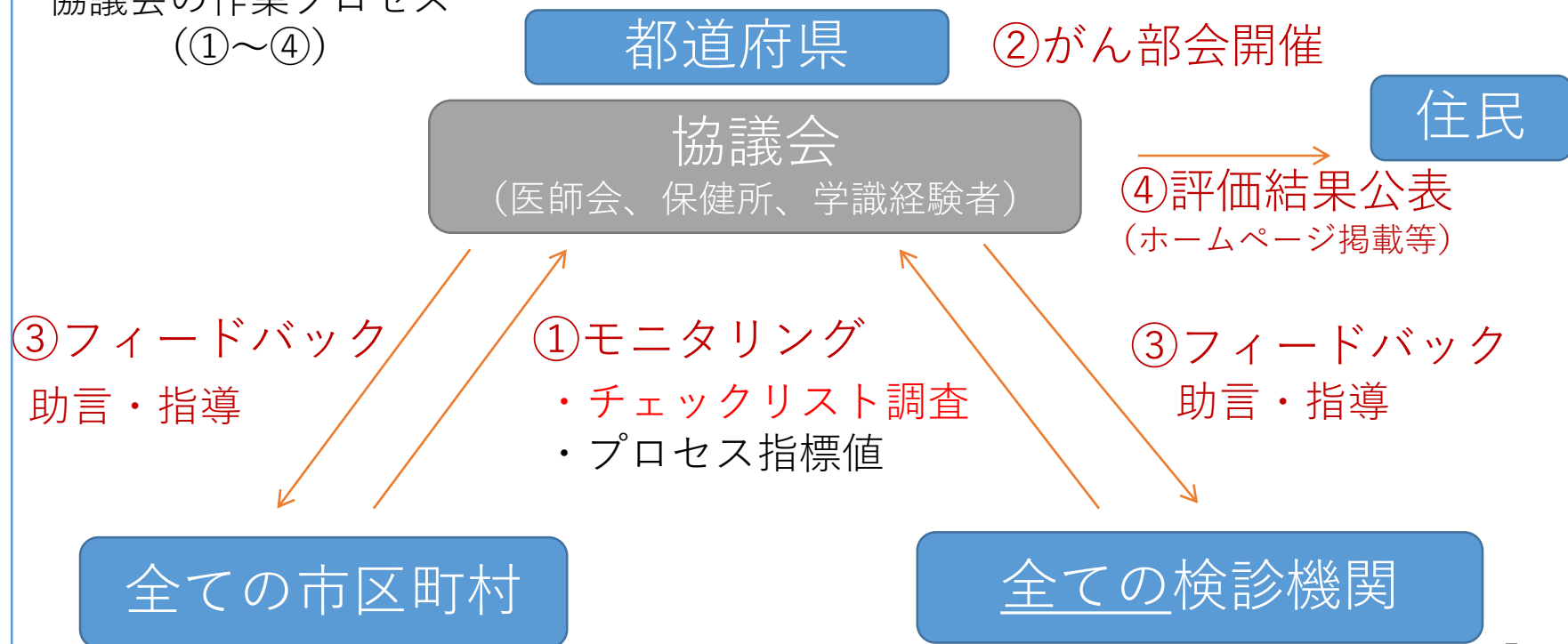
都道府県主導の精度管理体制

都道府県主導による精度管理の推進・均てん化

- ・厚労省「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年）
- ・総務省「がん対策に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」（平成28年）
- ・第3期がん対策推進基本計画（平成30年）

生活習慣病検診等管理指導協議会（協議会）の活性化

協議会の作業プロセス
(①～④)



がん部会で実施すべきこと (都道府県と連携して)

1. モニタリング

- 市区町村、検診機関のチェックリストの遵守状況の把握
- 市区町村、検診機関のチェックリストの遵守状況の**検討★**
- 市区町村、検診機関のプロセス指標の**検討★**
 - プロセス指標において問題があった**市区町村や検診機関からの聞き取り調査の実施★**

2. がん部会の開催

- 部会の構成員全員での「1.モニタリング」で把握したことの共有
- 市区町村や検診機関の精度管理状況の**分析・評価★**
- 市区町村や検診機関の**問題点の把握と改善策の検討★**

3. 市区町村や検診機関への助言・指導（フィードバック）

- 問題が認められた**市区町村や検診機関への実地調査や指導・助言★**
- 市区町村や検診機関の事業評価報告書の作成と配布
- 市区町村や検診機関への事業評価結果の説明会の開催
- 生活習慣病検診等従事者講習会の開催

4. 住民への検診実施状況の評価結果公表（ホームページ掲載等）

- がん部会で検討した内容の公表

★ がん部会でしかできないまたは、がん部会で行うと効果があること

都道府県に求められる役割

- がん対策推進計画に沿ったがん対策を進める
- 生活習慣病検診等管理指導協議会を活用し、がん検診の質を高める
- 医師会との協力を進め、個別検診も含めた精度管理体制を確立する
- 地域の事情をふまえ、がん検診関係者間の連携を図る
- 地域・職域で連携し、過不足のないがん検診を提供する

国立がん研究センターが実施する調査

国立がん研究センターが実施する調査（概要）

➤ **調査名：**

「都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査」

（旧：生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査）

➤ **回答者：**

都道府県ご担当者

➤ **調査目的：**

①都道府県の精度管理水準の把握

→ 「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」実施率を調査

②生活習慣病検診等管理指導者協議会の活動実態の把握

<調査内容>

- ・がん部会を**開催**し、そこで**検討**を行ったか
- ・検討結果を**公表**したか
- ・**何を公表**したか
（研究班が設定する公表項目を満たすか）

国立がん研究センターが実施する調査（評価）

都道府県チェックリストの遵守状況の評価

評価ランク	がん部会開催および部会での検討結果公表の有無	がん部会で公表すべき項目（9項目）のうち公表した項目数
A	○	9項目すべて公表
B	○	6～8項目公表
C	○	3～5項目公表
D	○	0～2項目公表
E	無回答またはがん部会未開催（開催予定なしも含む）	



都道府県チェックリスト、協議会活動状況が設定基準以下の都道府県へは当センター理事長名で改善依頼文書をお送りしています。

〔報告書・評価シートの公表先〕

科学的根拠に基づくがん検診推進のページ＜がん検診の精度管理＞

<http://canscreen.ncc.go.jp/management/index.html>

→生活習慣病検診等管理指導協議会の活性化

→各都道府県の協議会の活動状況について（調査結果）